

光で遊ぼう

きれいな光、身近な光
そして宇宙ができるまで





きれいな光

色が透過する積み木やセロファンを太陽の光に当ててみると、色の付いた光が床に映ることに気づいたお子さま。

光が当たる窓際に積み木やセロファンを並べ、たくさん光の作品が出来上がりました。

身近な光

中央図書館のプラネタリウムで、たくさんの方の星空を見たお子さま。スライルキッズの影絵劇場にて手影絵や色影絵で、光や影の美しさを体感したお子さまは、保育室の中の蛍光灯に黒いビニール袋をかけ、自らプラネタリウムを作ったり、厚紙とセロファンで作ったお人形を持って散歩先で遊ぶなど、工夫が広がってゆきました。

みつけた光

「せんせい、うさぎさんできたよ!」スライルでも床に色がつくよ!」などなど、光と影への探求心が深まり、遊びの工夫が広がってゆきました。

幼児クラス 作品展「宇宙」 かができるまで



光に興味がわく中で、ある日保育室の中に自作の「プラネタリウム」ができました。黒いビニールから漏れる小さな星の光を見ながら、いつしか「宇宙」にもいろいろなきれいな光があることが話題になっていました。そこへ、保育士がそと窓に張り付けた「宇宙人グレイ」を見つけたお子さまから、「宇宙作りたい！」の声が上がりました。



作品展

宇宙人の街
宇宙人の遊び場
宇宙のどこかに
ある海にすむ魚
たちテーマを決
めました。



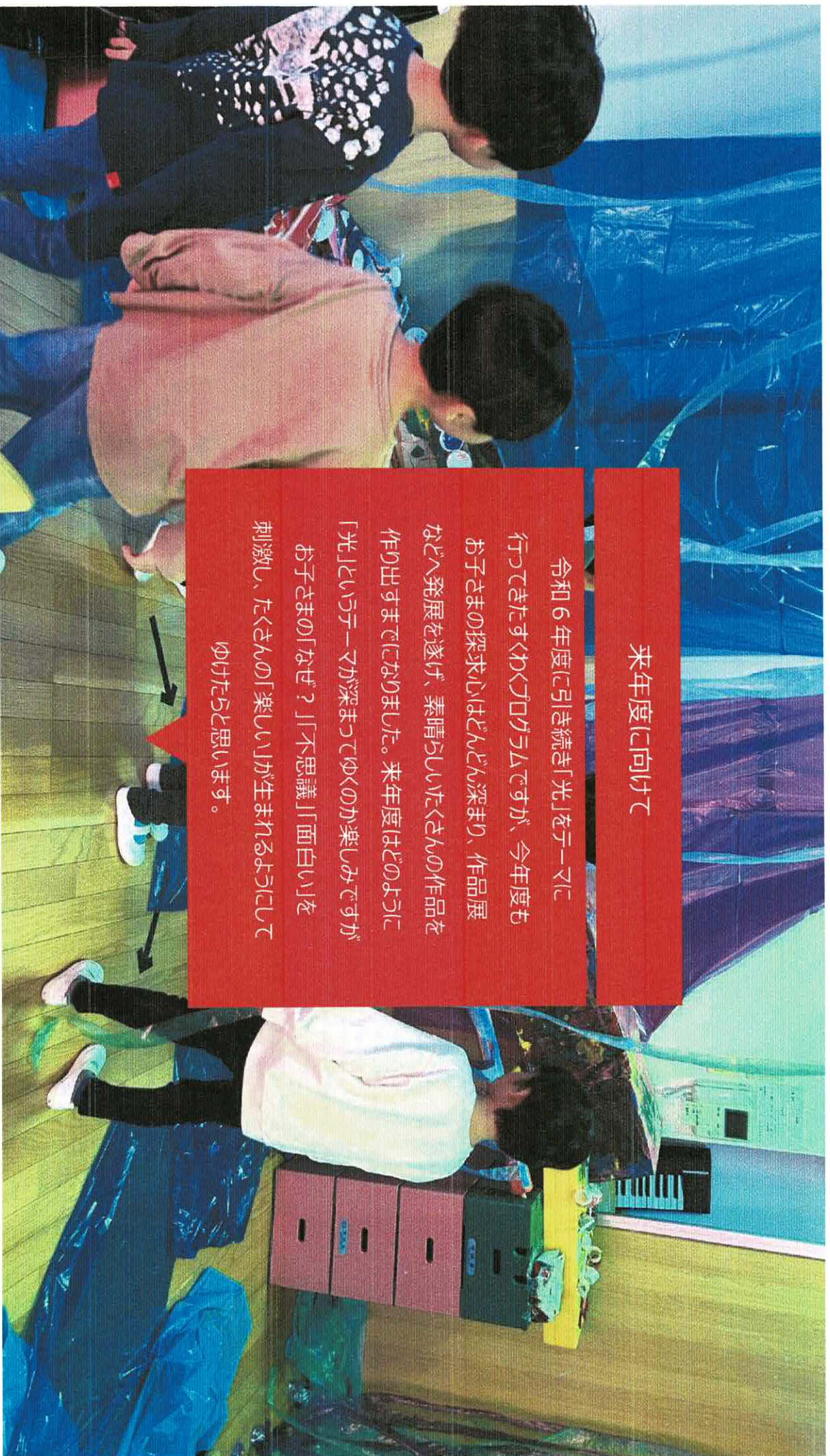
保育室に差し込
む光や、蛍光灯の
光を利用して宇
宙の光を表現し
ました。



設計図の絵から
作品を作り始め
るお子さま、ク
ラで3mもある巨
大クレーンを作
るなど、作品たち
は個性的で、素晴
らしい作品ばかり
でした。

来年度に向けて

令和6年度に引き続き「光」をテーマに行ってきたすくわくプログラムですが、今年度もお子さまの探求心はどんどん深まり、作品展などへ発展を遂げ、素晴らしいたくさんさんの作品を作り出すまでになりました。来年度はどのような「光」というテーマが深まってゆくのか楽しみですが、お子さまの「なぜ?」「不思議」「面白い」を刺激し、たくさんさんの「楽しい」が生まれるようにしてゆけたらと思います。



令和7年度すくわくプログラム
スマイルキッズ「下北沢保育園」

「食育」



スマイルキッズ下北沢保育園では 栄養士を中心にたくさんの方の食育 活動を行っています。

生涯にわたり、健康で質の高い生活を送るためには「食を営む力」を身につけることが大切です。その基礎を培うことが保育園における食育活動の目的とされています。「おいしく、楽しく食べる」を通じて、食に関する様々な事柄への興味や関心を引き出すことを大切に、食育活動を行っています。



食育活動に 対する思い

☆食文化に触れる

行事を通して受け継がれて来た日本古来の食文化について、また、食を通して日本人としての食習慣やマナーを身に付けてゆきます。

☆遊ぶことを通して楽しく、思い切り遊ぶことで、お腹が元気に過ぎます。健康にも遊びが過ぎた経験が重要な話もテーマを広げます。

それぞれの体験を通して

「食を営む力」の

基礎を育みます

☆人とのかかわり

お友達と一緒に食べたり、食事の話題を共有することが、人のかかわりを深める大切な機会になります。家族やお友達への愛情や信頼感を育むきっかけになります。

☆料理づくりへのかかわり

調理過程をみたり、自ら食材に触れる機会を通して、食材や食事に興味が生まれ「楽しい」「食べたい」という意欲を引き出してゆきます。

☆自然とのかかわり

自然の恵の大切さを伝えていきます。野菜等の成長や収穫に携わる体験をすることで興味・関心を持ちます。また、植物への慈しみの気持ちも育ててゆきます。

食育活動とコラムボード



楽しく行った食育を毎月コラムボードにお伝えしています。

食育活動の様子

いちご栽培



流しそうめん



焼きトウモロコシ屋さん



クッキング



夏野菜栽培



絵本くまちゃん
のホットケーキ

スイートポテトづくり



大蔵大根の収穫



クッキーづくり



大根もち



ゆず足湯



もちつき



すいかのフルーツポンチづくり



